

第27回企画委員会議事要旨

2022年3月3日(木)

日時 2022年3月3日 17時～19時

場所 zoomにて開催

出席者

駒村委員長、朝日委員、有村委員、池田委員、岡崎委員、久保寺委員、丸物委員、村木委員、山田委員

日本財団、ダイバーシティ就労支援機構

1. 第3回日本財団 WORK! DIVERSITY カンファレンス(3月11日開催)の報告
(事務局)(略)

2. 障害者就労支援アンケート調査結果報告

【事務局説明】「障害者就労支援機関アンケート調査結果」に基づき説明。

- 障害者就労支援機関には、障害以外の就労困難要因を持った多様な就労困難者が、相談や支援を求めに来ており、その中には現行制度では受け入れが難しい方々も少なからずいる。
- 現行制度で受け入れ困難な就労困難者に対しても、2/3の法人で受け入れを工夫したり、他の機関につないだりしている。
- 多様な就労困難者の潜在的な受け入れ意欲は高く、「制度が許せば」を含めると40%の法人が障害の有無にかかわらず多様な就労困難者を受け入れるとしている。
- 多様な就労困難者を受け入れるための最大の課題は人材・ノウハウの不足であり、支援制度に関する研修や多様な就労困難者の特性を理解できる研修を求めるものが多い。
- 約半数の法人で、地域プラットフォームへの関心・参加意向がある。

【委員交換】以下のような意見が出た。

- せっかくいい資料が出たので、積極的にPRすべきである。
- クロス集計すると面白い結果が出てきそう。

3. 日本財団 WORK! DIVERSITY プロジェクト 2021年度事業報告

【事務局説明】「日本財団 WORK! DIVERSITY プロジェクト 2021年度事業報告(案)」に基づき説明(略)。

4. 2022年度日本財団 WORK! DIVERSITY プロジェクトについて

【事務局説明】「日本財団 WORK! DIVERSITY プロジェクト 2022年度事業計画(案)」に基づき説明(略)。

【3、4まとめでの意見交換】以下のような意見が出た。

- 多様な人々が、多様な就労、多様な働き方をしている。これを一つの流れとしてまとめていく役割が重要。
- WORK! DIVERSITY 地域ネットワークの構築は、内閣府の孤独・孤立プラットフォーム構築の検討が参考になるのではないか。
- ネットワーク構築検討部会、横断的支援方策検討部会では、以下の3点を提案しようとしている。①既存の制度の改革も含む横断的就労支援制度の提案、②機能する地域プラットフォームの構築、③就労支援者の支援の質を高める研修。